

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第4区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-524197(P2004-524197A)
【公表日】平成16年8月12日(2004.8.12)
【年通号数】公開・登録公報2004-031
【出願番号】特願2002-583187(P2002-583187)
【国際特許分類第7版】

B 4 1 J 2/175

B 4 1 J 2/01

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月15日(2005.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インクジェット印刷システムが収容ステーションを備え、該収容ステーションが流体入口およびシール構造を備え、該収容ステーションによって収容されるようになっている交換式インク容器であって、

流体出口および該流体出口に近接したシール表面を画定する槽と、

前記シール表面を湿潤させるように前記槽内に含まれ、懸濁液中に保持された固体粒子を含み、シール表面とシール構造との間の前記固体粒子が固化することにより前記シール表面と前記シール構造との間の欠陥をシールするように作用するシール材とを備えている、インクジェット印刷システムにインクを供給するための交換式インク容器

。

【請求項2】

前記槽内に含まれた前記シール材はある量のインクである、請求項1に記載の交換式インク容器。

【請求項3】

前記インクジェット印刷システムが収容ステーションを備え、該収容ステーションが流体入口およびシール構造を備え、該収容ステーションによって収容されるようになっている交換式インク容器であって、

インクを保持するために内部に配置された毛管貯蔵部材を備え、流体出口および該流体出口に近接したシール表面を画定する貯蔵槽と、

中に粒子が懸濁し、前記毛管貯蔵部材内に保持され、前記粒子がシール表面とシール構造との間で固化して前記シール表面と前記シール構造との間の欠陥をシールするように作用するインクと

を備えている、インクジェット印刷システムにインクを供給するための交換式インク容器

。

【請求項4】

前記粒子は顔料粒子である、請求項1又は3に記載の交換式インク容器。

【請求項5】

前記粒子はカーボンブラック粒子である、請求項 1 又は 3 に記載の交換式インク容器。

【請求項 6】

前記インクはさらに分散剤を含有している、請求項 1 又は 3 に記載の交換式インク容器。

【請求項 7】

前記流体出口に近接した前記シール表面は、前記インク容器内に貯蔵された前記インクによって湿潤されるように構成されている、請求項 3 に記載の交換式インク容器。

【請求項 8】

前記シール表面は、前記インクにより湿らされて湿潤性が高くなるように構成されている、請求項 1 又は 3 に記載の交換式インク容器。

【請求項 9】

交換式インク容器のシール表面を、前記交換式インク容器内に収容されている懸濁液中に保持された固体粒子により規定されるシール材で湿潤させることと、

前記シール表面を前記シール構造と係合させることであって、それによって前記シール材が前記シール表面と前記シール構造との間に配置されることと、

前記固体粒子が前記懸濁液中で懸濁状態から固化することにより、前記シール表面と前記シール構造との間の欠陥をシールすること

を含む、交換式インク容器とシール構造との間にシールを形成する方法。

【請求項 10】

前記シール材は、前記交換式インク容器内に収容されているインクである、請求項 9 に記載のシールを形成する方法。

【請求項 11】

インクジェット印刷システムが流体入口およびシール構造を有し、このインクジェット印刷システムに収容されるようになっているインクジェット印刷システム用の交換式印刷部品であって、

前記インクジェット印刷システムの対応するシール構造に係合するように構成されたシール表面を有し、

前記シール表面は、懸濁液中に保持されたシール表面と対応するシール構造の間の固体粒子の固化によって構成されるシール材が、前記シール表面と対応する前記シール構造との間の欠陥をシールするように湿潤されるようになっている、インクジェット印刷システム用の交換式印刷部品。